

市民アンケート 調査結果

下呂市では、第2次総合計画に掲げる「もっと住みたい訪れたい みんなのふるさと わくわく下呂市」の実現を目指し、さまざまな取り組みを行っています。

市民の皆さんが日頃感じていることや市政に対しての意見を伺い、効果的に計画を推進していくため2018年3月にアンケート調査を行いました。

対象者は市内在住の20歳以上の人から無作為抽出した2,000人で、回答は1,023人、回答率は51.2%でした。前年と比べて数値が向上した項目、悪化した項目、地方創生についての項目を抜粋して紹介します。

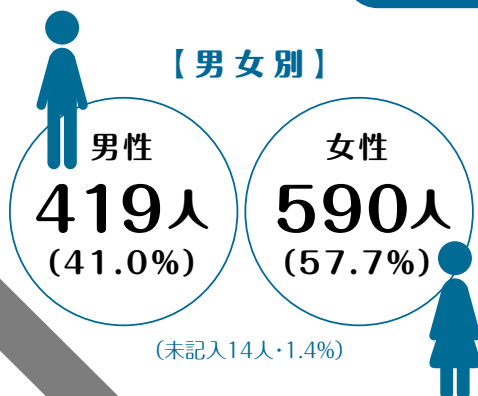
なおアンケート調査の全ての結果は、近日中に下呂市ホームページで公開します。

(回答割合の合計は、端数処理により100%にならない場合があります。)

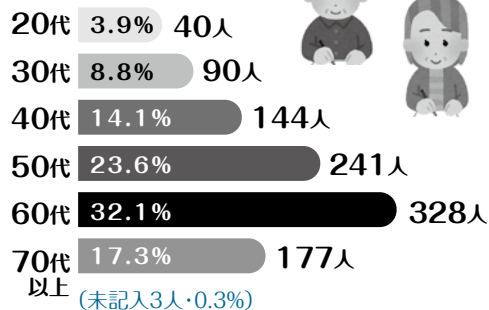
【企画課】

回答者内容

【男女別】



【年代別】

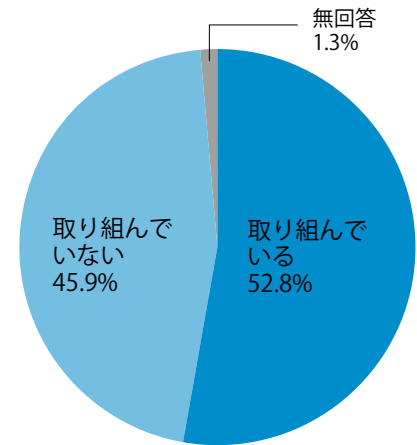


▶ 前年に比べて良くなった項目

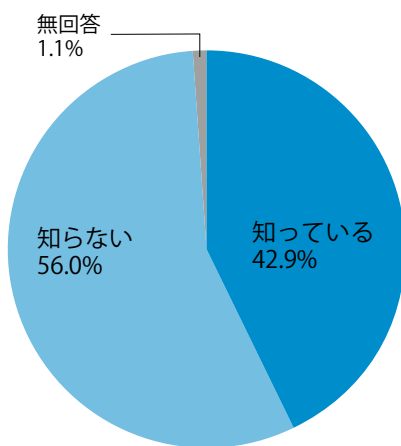
- 下呂市は、塩分の取りすぎが原因とされる高血圧や胃がんにかかる人が多い傾向にあります。あなたは減塩に取り組んでいますか？

| | 取り組んでいる | 取り組んでいない | 無回答 |
|-----|---------|----------|-------|
| H29 | 52.8% | 45.9% | 1.3% |
| H28 | 50.5% | 47.9% | 1.6% |
| 増減 | 2.3% | -2.0% | -0.3% |

減塩に「取り組んでいる」と回答した市民の割合が前年度から 2.3%増加し 52.8%となりました。これに対し「取り組んでいない」と回答した市民の割合は 2%減少し 45.9%となっています。年代別でみると、減塩に取り組んでいる市民は 60代以上の世代では 6割を超える高い水準となっていますが、20、30代では 2割程度と低い水準にとどまっています。市では若い世代から将来にわたり「自分の健康は自分で守る」という意識の醸成を図ることを目的として、本年度から若者健診事業を実施しています。今後も食育を通して市民の健康づくりを推進していきます。



- DV（配偶者等からの暴力）児童虐待などに対する相談窓口を知っていますか？



| | 知っている | 知らない | 無回答 |
|-----|-------|-------|-------|
| H29 | 42.9% | 56.0% | 1.1% |
| H28 | 39.4% | 58.6% | 2.1% |
| 増減 | 3.5% | -2.6% | -1.0% |



DVや児童虐待などに対する相談窓口を「知っている」と回答した市民の割合は、前年度から 3.5%増加し 42.9%となりました。また「知らない」と回答した市民は 2.6%減少し 56%となっています。特に女性の認識率は 45.8%で、相談窓口の認知が進んでいることが伺えます。しかし、依然として認知度が半数を下回っていることから、家庭や地域、学校や職場などと連携し、家庭などにおける暴力・児童虐待をなくすための広報啓発活動を推進していきます。

- 下呂市は、県内、県外の他地域や海外とさまざまな交流を行っていますが、それが下呂市の活性化につながっていると感じますか？

| | 感じる | 感じない | 分からない | 無回答 |
|-----|-------|-------|-------|------|
| H29 | 15.7% | 38.9% | 43.8% | 1.6% |
| H28 | 13.1% | 44.1% | 41.7% | 1.1% |
| 増減 | 2.6% | -5.2% | 2.1% | 0.5% |

「地域間交流が市の活性化につながっていると感じる」と回答した市民の割合は前年度から 2.6%増加し 15.7%で、「感じない」市民の割合は 5.2%減少し 38.9%となりました。全ての年代において「感じる」割合が低水準となっていますが、20代ではおよそ 4割が「感じる」と回答しており、若い世代を中心に、まちが活性化していると感じていることが伺えます。今後も青少年・教育・文化などの分野において、地域の人材や資源などその地域の特色を生かした交流を進めていきます。

